

L Pガス用

可とう管ガス栓 取扱説明書



消費者のみなさまへ

はじめに

このたびは、伊藤鉄工株式会社製のL Pガス用可とう管ガス栓をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、L Pガスをご使用になるみなさまを対象に可とう管ガス栓の取扱いについて、「安全のための注意」、「製品説明」、「安全にご使用頂くために」、の順に作成してあります。

お客様にL Pガスを安全・快適にご使用いただくため、この取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

お願い
この製品はツマミ開、閉操作が押し回しになっております。
真上より確実に押し回しをされます様
お願いします。

1. 安全のための注意

この取扱説明書では記述の説明文の前に △ や ⊘ 、㊦ が付してありますが、それぞれの表示は以下の内容を表現したものです。

表示	危害・損害の程度
△ 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じる事が想定される。
△ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の発生が想定される。
△ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される。

⊘ : 禁止 ㊦ : 必ずおこなう

2. 製品説明

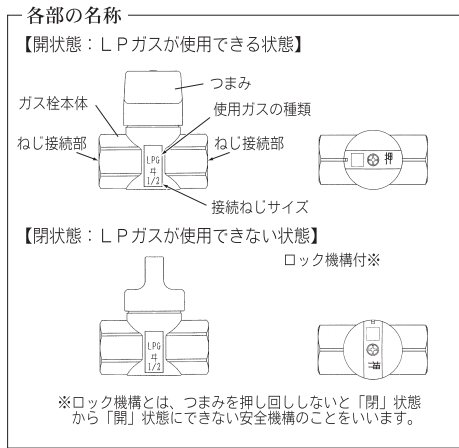
このガス栓は、L Pガス用可とう管ガス栓（以下、ガス栓という）です。
このガス栓は、L Pガスに関する法律に基づき（財）日本エルピーガス機器検査協会による適合性検査に合格した製品です。
この合格証マークを確認してください。



使用方法

- ・（L Pガスを使用するとき）
つまみを左（反時計回り）に“押し回し”をすると栓が開き、L Pガスが使用できます。
- ・（L Pガスの使用を止めるとき）
つまみを右（時計回り）に戻すと栓が閉じ、L Pガスが停止します。
- ・つまみ操作は「全開」、「全閉」でご使用ください。

製造番号・製造年月の表示（全体をロット番号とも言う）		
0 9	0 1	0 1
製造年	製造月	ロット番号、又は製造番号
製造業者の略称： 中		



3. 安全にご使用いただくために

△ 危険

- ⊘ このガス栓は、L Pガス専用のガス栓です。
L Pガス以外に使用すると、機能が損なわれるおそれがありますので使用できません。
- ⊘ このガス栓は、L Pガス設備士以外の方が接続、取り外しをおこなうことは禁止されています。
- ⊘ このガス栓は、分解・改造をしないでください。ガス漏れ等の事故になるおそれがあります。

△ 警告

- ⊘ このガス栓に物を落としたり、衝撃を与えないでください。
- ⊘ このガス栓に水をかけたり、洗剤・カビ取り剤等の薬剤をかけないでください。腐食によりガス漏れ等の異常が起こるおそれがあります。
- ⊘ このガス栓に燃焼器具の炎や排熱、暖房機等の温風を当てないでください。
- ㊦ ガス臭と思ったら窓を開け（着火する可能性がありますので、換気扇を回さないでください。）、ガスの使用を中止し、L Pガス販売事業者へただちに連絡してください。
- ㊦ 燃焼器具が未接続のガス栓には、L Pガス販売事業者に依頼し、金属製の止め栓を施すようにしてください。
- ㊦ つまみの開閉操作が滑らかでない場合は、L Pガス販売事業者に連絡してください。

△ 注意

- ⊘ 不用意にガス栓が開まってしまうことを避けるため、付近にものを置かないでください。
- ㊦ 長期間、このガス栓に接続された燃焼器具を使用しないときはこのガス栓（1/2のみ）のつまみを「閉」状態にして、L Pガス販売事業者に「閉栓カバー」でつまみが廻らないように頼んでください。
- ㊦ 地震等により被災したガス栓は、強い衝撃を受け破損及びガス漏れ等が発生することがありますのでL Pガス販売事業者に相談してください。
- ㊦ 風水害により被災したガス栓は、強い衝撃及び冠水・水分浸入等により、腐食で機能が損なわれておりますのでL Pガス販売事業者に相談してください。
- ㊦ この製品の老朽化の目安は製造後15年です。交換期限を過ぎている場合は、L Pガス販売事業者にご相談ください。また、交換期限内であっても性能等に異常を生じた場合は、L Pガス販売事業者に連絡して新品に交換してください。

この製品はツマミ開、閉操作が押し回しになっております。
真上より確実に押し回しをされます様
お願いします。

製造元
伊藤鉄工株式会社
愛知県碧南市道場山町1-70
TEL (0566) 41-4328
FAX (0566) 48-0692

●販売店

LPガス用可とう管ガス栓の取付・取扱説明書

LPガス販売事業者のみなさまへ
LPガス設備士

はじめに

このたびは、伊藤鉄工株式会社製のLPガス用可とう管ガス栓（フレキガス栓）をお買い上げ頂きありがとうございました。この取付・取扱説明書は、主としてLPガス販売事業者・LPガス設備士の方を対象にLPガス用可とう管ガス栓の取扱いについて、「製品説明」、「安全のために」、「設置工事に関する注意事項」そして「維持管理に関する注意事項」の順に作成してあります。お客様にLPガスを安全・快適にご使用いただくため、法令を遵守し、この取付・取扱説明書をよく読んでLPガス消費設備の正しい設置工事に心がけてください。なお、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」（以下、液化石油ガス法という）、同法施行規則、告示並びに例示基準、その他高圧ガス保安協会が編纂・発行する「LPガス設備設置基準及び取扱要領（青本）」・「液化石油ガス設備 施工マニュアル」等の関係基準は工事施工の基本となりますので遵守をお願い致します。この取付・取扱説明書には記述説明文の前に △ や ⊙、① が付してありますが、それぞれの表示は以下の内容を表したものです。

表示	危害・損害の程度
△ 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じる事が想定される。
△ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の発生が想定される。
△ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される。
⊙：禁止 ①：必ずおこなう	

1. 製品説明

- (イ) この製品は、LPガス用可とう管ガス栓（以下、ガス栓という）です。主に固定式燃焼器具（給湯器、ヒルトインコンロ、業務用調理器具等）の近傍に設置し、燃焼用ホースやフレキシブルホース等とねじにより接続して使用する末端ガス栓です。燃焼器具のガス消費量に応じて選定してください。
- (ロ) このガス栓は液化石油ガス法に特定液化石油ガス器具として指定され、(財)日本エルピーガス機器検査協会の適合性検査に合格した製品です。合格証マークを確認してください。



お願い

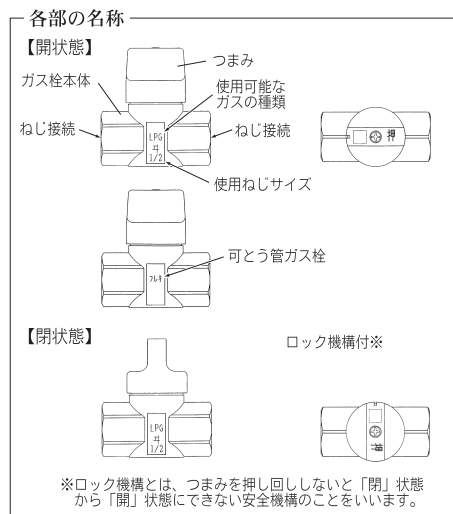
この製品には「保証書」と「取付・取扱説明書（LPガス販売事業者・LPガス設備士向け）」「取扱説明書（消費者向け）」を同梱してありますので確認してください。なお、「取扱説明書（消費者向け）」にはお客様に説明する内容が記載されていますので、設置後には必ずお客様に「取扱説明書（消費者向け）」を切り取り、お渡しして、取扱い方法を説明してください。

■主な仕様と各部の名称

出口ねじ寸法 (管用テーパめねじ)	Rc1/2	Rc3/4	Rc 1
構造	直・曲	直・曲	直・曲
取り付ける燃焼機器の 最大消費量の目安	42kW (3.0kg/h)	84kW (6.0kg/h)	126kW (9.0kg/h)
使用圧力範囲	2.30kPa～3.50kPa		
使用ガス	LPガス		
備考	1. “閉”から“開”の操作時には、ロック機構を備えています。 2. つまみの色は水色となっています。 3. Rc1/2は、誤開放防止の「閉栓カバー」が使用できます。 4. フレキの文字があるものもあります。		

製造番号・製造年月の表示 (全体をロット番号とも言う)		
0 9 0 1 0 1		
製造年	製造月	ロット番号、又は製造番号

製造業者の略称： 中



2. 安全のために

△ 危険

- ⊙ このガス栓は、LPガス専用です。LPガス以外には使用しないでください。LPガス以外で使用すると、機能を損なうことにより重大事故になるおそれがあります。
- ⊙ このガス栓は分解・改造をしないでください。ガス漏れ等の事故になるおそれがあります。



△ 注意

- ⊙ このガス栓を長期間保管する場合は湿気、ほこり等の影響を受けない場所に保管してください。
- ⊙ このガス栓は、老朽化の目安として交換期限は製造後15年です。交換期限を過ぎたものは老朽化により性能低下していることがありますので、交換をしてください。

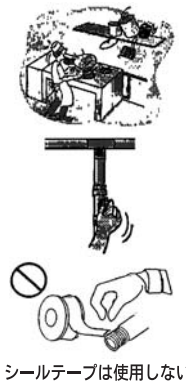
3. 設置工事時の注意事項

△ 警告

- ⊙ このガス栓は、冠水するおそれのある場所には設置しないでください。
- ① このガス栓の接続部に曲げ等の無理な力がかかると、ガス漏れの原因となりますので正しく設置してください。
- ⊙ このガス栓を設置する前に落下等の衝撃を与えた場合は使用しないでください。
- ⊙ 有害なガス（アンモニア・亜硫酸ガス等）の影響を受ける恐れのある場所に設置しないでください。
- ① 設置完了後には、気密検査等の法定検査を実施し、ガス栓のつまみ（水色）が正常に作動することを確認してください。

△ 注意

- ① このガス栓の取り付けは、液化石油ガス設備士自らが施工してください。
- ⊙ このガス栓は、供給設備側（調整器の出口、メータの入口等）に使用しないでください。圧力損失が大きくなり、必要なガス量が出なくなる場合があります。
- ⊙ このガス栓に物が落下する場所、衝撃の加わるおそれのある場所に設置しないでください。
- ① このガス栓は、積雪の影響を受けにくい場所に設置してください。
- ① このガス栓は、水のかかりやすい場所に設置することはできるだけ避けてください。
- ⊙ このガス栓を燃焼器具の炎・排熱を直接受ける場所や輻射熱を受ける場所に設置しないでください。
- ⊙ このガス栓は、つまみの「開」「閉」操作が滑らかでないものは使用しないでください。
- ① このガス栓を取り付けるときには、ガス漏れ等の発生を防ぐため、ねじ部の切粉、切削油、ゴミ等の異物を除去してください。
- ⊙ このガス栓の接続にシールテープは使用しないでください。
- ① ねじ接続には、接続するRねじの先端2山を残し、全周に耐LPガス性の不乾性または半乾性シール剤を塗布し、シール剤がガス栓内に入らないように注意してください。
- ① このガス栓を設置するときは六角部の二面幅にスパナを正しく掛け、過剰締め付けとならないようねじ込んでください。
(配管用パイプレンチをスパナの代わりに使用しないでください。)



4. 維持管理に関する注意・周知事項

△ 警告

- ⊙ このガス栓に水をかける行為、洗剤や薬品等をかける行為は行わないでください。腐食等によりガス漏れに至る可能性があります。
- ① 調査時にはガス漏れほか、つまみの開閉操作を確認し、異常があれば新品と交換してください。
- ① 燃焼器具が未接続のガス栓には、金属製の止め栓を施すとともに、長時間使用していないガス栓（1/2用のみ）には、誤開放による事故防止のため、「閉栓カバー」を利用してつまみが回らないようにしてください。
- ⊙ このガス栓を再使用しないでください。ガス栓の主要部品にはゴム、樹脂部材を使用しているため、一度使用したガス栓を空気中に放置すると初期の性能（気密性）が維持されない場合があり、ガス漏れ等に繋がる可能性があります。
- ① 地震等により被災したガス栓は、強い衝撃を受け、破損及びガス漏れ等が発生することがありますので新品に交換してください。
- ① 風水害により被災したガス栓は強い衝撃、水浸入等による腐食で機能が損なわれておりますので新品に交換してください。



△ 注意

- ① このガス栓のつまみ操作は「全開」、「全閉」でご使用ください。
- ① ガス漏れ検知液を塗布した後は、錆等の発生を防止するために良く拭き取ってください。

伊藤鉄工株式会社
愛知県碧南市道場山町1-70
TEL (0566) 41-4328
FAX (0566) 48-0692

〔ボール式〕 取扱説明書 検査孔付可とう管ガス栓 配管用フレキ管接続タイプⅠ型

お願い
この製品はツマミ開、閉操作が押し回しになっております。真上より確実に押し回しをされます様をお願いします。

配管用フレキ管接続タイプⅠ型の説明は裏面にございます

(特徴)

1. 従来通りの可とう管ガス栓としてご使用できます。
2. 配管の空気抜き及び気密検査ができます。(両側検査)
3. 上流側の気密検査、空気抜き又は、下流側の気密検査ができます。(片側検査)
4. 燃焼圧が測定できます。

(取付工事上の注意)

ガス栓の取付においては、ガス栓本体側面にガスの流れ方向が矢印(➡)で表示してありますので、これに従って取付けて下さい。

(気密検査及び空気抜きの方法)

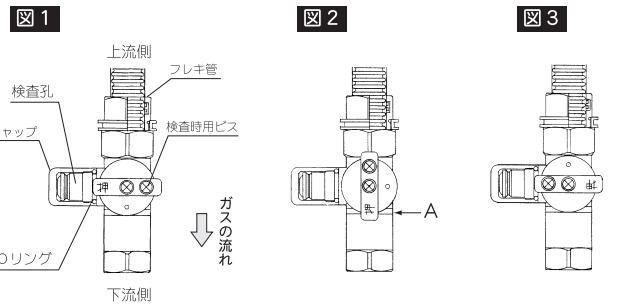
- A 下流側の気密検査(図1)
1. ガス栓のツマミを閉にする。
 2. 記録計のホースにソケットを装着する。
 3. 検査孔キャップを取り外し、記録計と接続します。
- B 上流側及び下流側の同時気密検査(図2)
1. ガス栓のツマミを開にする。
 2. 上流側ガス栓又は容器バルブを閉にして配管にガスを封じ込める。
 3. 記録計のホースにソケットを装着する。
 4. 検査孔キャップを取り外し、記録計と接続します。
(ガスを流せばこの状態で燃焼圧の測定も可能)
- C 上流側の気密検査及びソケット開放で空気抜き(図3)
1. ガス栓のツマミを閉にする。
 2. 上流側ガス栓又は容器バルブを閉にして配管にガスを封じ込める。
 3. ツマミの検査用ビスをドライバーで、ビスの頭をツマミの表面と同じ位置まで緩め、ツマミを通常閉よりさらに時計方向に180度回転させる。
 4. 記録計のホースにソケットを装着する。
 5. 検査孔キャップを取り外し、記録計と接続します。
(ガスを流してソケットだけをプラグに装着して開放すれば空気抜きが行える。)

(検査用ビスの戻し方)

ハンドルを図2の状態に戻し、緩めたビスを元通り締め付けてください。

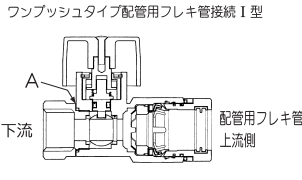
(検査孔キャップの取扱い注意事項)

1. 取付ける前にOリングがプラグ根元に付いていることを確認して下さい。



警告

- ・矢印A部は右回転(右ネジ)にて締め付け接続してあります。
- ・左回転に負荷を掛けると緩みガス漏れの原因になります。



燃焼機器直接続工事に携わる方へのお願い

- ! 警告
- ・ガス栓とガス燃焼機器の接続工事は、液化石油ガス設備士の方が正しく施工して下さい。
 - ・工具はモンキーレンチを使用して下さい。(パイプレンチは使用しないで下さい)
 - ・フレキ管には不必要な曲げを加えないで下さい。
 - ・接続工事後、漏洩検査を実施して下さい。
 - ・燃焼機器を交換する場合は自在ナット側から行ってください。
- ※フレキ管接続部分は絶対に緩めないで下さい。

- 【施工上の注意】
- ! 注意
- ・接続部にゴミなどの異物の無いことを確認して下さい。
 - ・自在ナットを燃焼機器に直接接続して下さい。
 - ・ガス栓の自在ナットを燃焼機器接続口へ手で充分ねじ込んで下さい。
 - ・更に工具を使用して自在ナットを締め込んでください。
 - ・施工後はガス栓の開閉が円滑に行われることを確認した後開閉して下さい。

〔ボール式〕 取扱説明書 検査孔付可とう管ガス栓 配管用フレキ管接続タイプⅠ型

お願い
この製品はツマミ開、閉操作が押し回しになっております。真上より確実に押し回しをされます様をお願いします。

配管用フレキ管接続タイプⅠ型の説明は裏面にございます

(特徴)

1. 従来通りの可とう管ガス栓としてご使用できます。
2. 配管の空気抜き及び気密検査ができます。(両側検査)
3. 上流側の気密検査、空気抜き又は、下流側の気密検査ができます。(片側検査)
4. 燃焼圧が測定できます。

(取付工事上の注意)

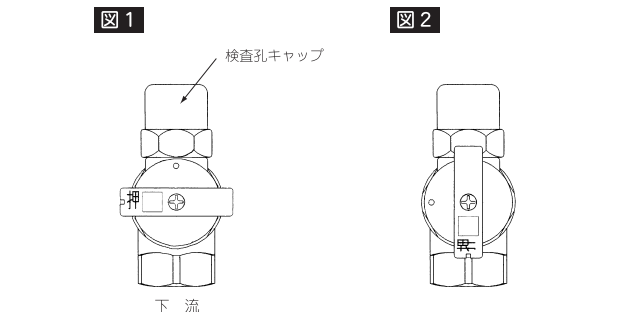
ガス栓の取付においては、ガス栓本体側面にガスの流れ方向が矢印(➡)で表示してありますので、これに従って取付けて下さい。

(気密検査及び空気抜きの方法)

- A 上流側の気密検査及びソケット開放で空気抜き(図1)
1. ガス栓のツマミを閉にする。
 2. 上流側ガス栓又は容器バルブを閉にして配管にガスを封じ込める。
 3. 記録計のホースにソケットを装着する。
 4. 検査孔キャップを取り外し、記録計と接続します。
(ガスを流してソケットだけをプラグに装着して開放すれば空気抜きが行える。)
- B 上流側及び下流側の同時気密検査(図2)
1. ガス栓のツマミを開にする。
 2. 上流側ガス栓又は容器バルブを閉にして配管にガスを封じ込める。
 3. 記録計のホースにソケットを装着する。
 4. 検査孔キャップを取り外し、記録計と接続します。
(ガスを流せばこの状態で燃焼圧の測定も可能)

(検査孔キャップの取扱い注意事項)

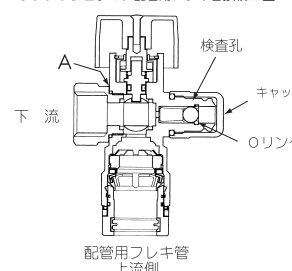
1. 取付ける前にOリングがプラグ根元に付いていることを確認して下さい。



警告

- ・矢印A部は右回転(右ネジ)にて締め付け接続してあります。
- ・左回転に負荷を掛けると緩みガス漏れの原因になります。

この製品はツマミ開、閉操作が押し回しになっております。真上より確実に押し回しをされます様をお願いします。



燃焼機器直接続工事に携わる方へのお願い

裏面のお願いをよくお読みになった上で施工して下さい。

伊藤鉄工株式会社
愛知県碧南市道場山町1-70
TEL (0566) 41-4328 FAX 48-0692